WORLD'S COLUMBIAN EXPOSITION.

梅嶺百鳥画譜　着色全六冊
工業図式　着色全五冊
哥麿虫類画譜　着色全一帖
菊池容齋画譜　帙入全二冊
鮮齋永濯画譜　全一冊
萬職図考　着色全五冊
雲峨花鳥畫譜　着色全一冊
省亭花鳥畫譜　着色全三冊
冨嶽真景　着色全二冊
日本模様鑑　着色全一冊
新撰古代模様鑑　着色全二冊
國史画報　着色全十三冊

梅嶺花鳥画譜　着色全二帖
梅嶺菊百種　着色全三帖
耕香館画賸　帙入全四冊
曉齋畫談　帙入全四冊
光琳画式　着色全一冊
北齋今様雛形　着色全一冊
北齋花鳥画傳　着色全二冊
墨僊叢画　着色全一冊
廣重画譜　着色全三冊
古代唐草模様集　全一冊
繪画帖　着色全三帖

明治廿六年十月六日印刷
仝　年十月十日發行

版權所有

著画者　東京市芝區新櫻田町拾九番地　久保田米僊

發行兼印刷者　仝日本橋區通一丁目拾八番地　大倉保五郎



發賣所　仝所拾九番地　大倉書店

剞劂者　仝區小傳馬上町拾二番地　梅澤己之吉

然しまれに價を[illegible]

まりし現今も生国中屈指の珍寶たりしメルレイ氏
歿後の名誉燗焉として炬の如きこと此の如し
凡そ技藝家たらんものの満足を一世よりも恨みを呑て
九泉に逝くものの如き皆是れなり
嗚呼博覧会なるものの一たび社会に起るありてより
以来吾人をして此の寶物を覧観することを得せしめ
豈に何ぞ未だ盛なる世より遺物の得を保つ能はず
余今此画に對して感じ深きものあり故に余も
特に之を巻首に置くと爾り云ふ

米僊志るす

閣龍世界博覧會美術品画譜跋

巻首に載せる所のメルレイ氏の労働者之図とメルレイ氏の畫意匪ふしける氏が刻苦勉強機軸を出しゝ一世を睥睨せし真家筆なれも世人をして之を賞せしめしを却て凡庸の油画を愛せりと是に於てか氏と労して功なく荒野開拓せさる図を描きて之を展覧會に出せしが世人をして是より氏が非凡の技倆あらせしめれば知りしと称し此図即ち是きなり

此図は當時桑港の某氏が珍蔵せし所のものなりしを今般某氏と特別を以て美術鑑賞品とまりしが

スポジシヨン 即ち世界博覧會の文字を以てせり蓋し
北米合衆國以來發達したる天産及ひ人造の物品を陳列する
もの是れ世界萬種の品物の發達進歩せし實況を示し
之を以て各國の福利を増進せしめんとするに在りしなり
如し而して市俄高府は合衆國東部の中央なるイリノ
イス州に在りてミシガン湖畔に沿ひ其數哩に亘り
都會なるを以て會場を此地に定め此地は實に適當なる撰
合衆國大統領は其處に世界各國に向て博覧會の
賛同を求められしを以てや我日本政府も帝國議会乃
協賛を經て賛同せらるゝことゝなりたりしなり

閣龍世界博覧會開設の趣旨

北米合衆國イリノイス州市俄高府に於て世界博覧會を開く所以の趣旨は西暦一千四百九十二年十月我後土御門天皇の明應元年閣龍が亞米利加大陸を發見せられし年より四百年の星霜を經る數千八百九十二年 明治二十五年 を周期四百年に相當せるを以て紀念の祝典を舉げんが爲めに世界博覧會を開設せるの計畫なりしより然るに其の準備整頓せざりしが爲めに延期し本年 明治二十六年 を期して始業を開始せり而して之は名けて ウヲールトコロンヒヤンエキ

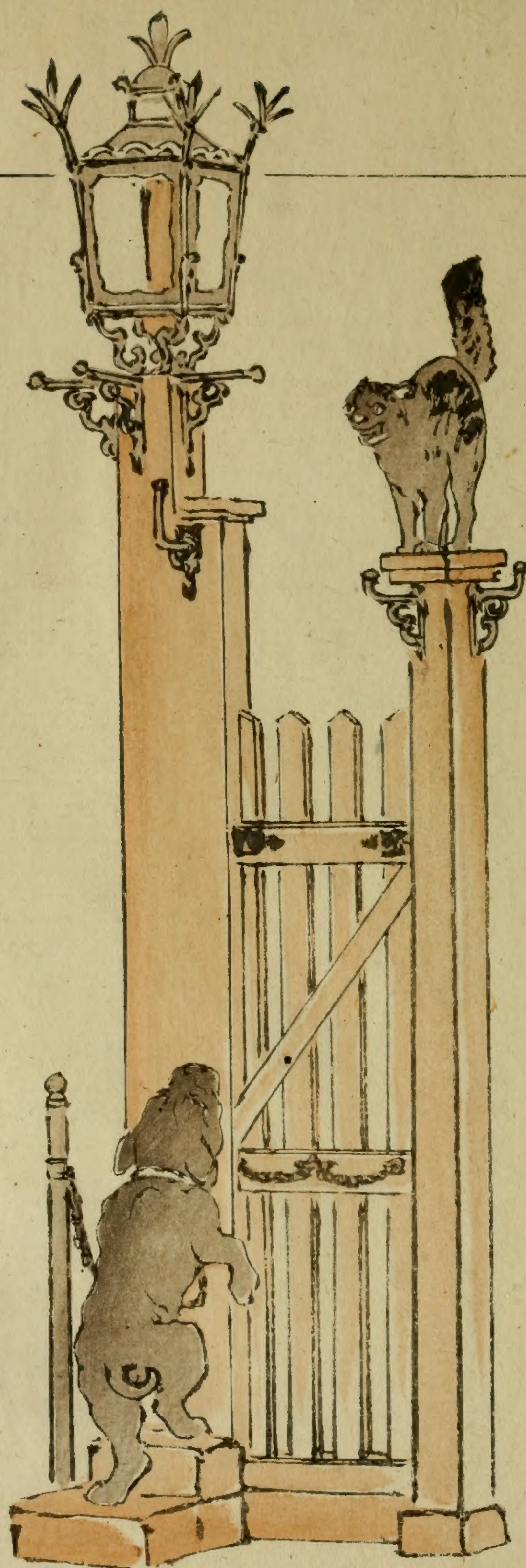








印甸陶器紋各種　英國政府館陳列



工藝館陳列澳太利製帽架
燈及猫犬銅製柵門木造



北米合衆國メルラント州ホウチモウハ
金銀細工會社出品
工藝館陳列銀製水注



GOHN. H. CONMRSE　佛蘭西ジヨンエー チカ



ガンモウルス氏作大塑象　美術館陳列



日本壽川物[illegible]



七寶扁額美術館陳列



同裏　美術館陳列



佛國製青銅花瓶　鑄込浮紋　表　美術館陳列

獨逸製品工藝館陳列名刺皿

破籃及人物金　臺銀煮黑ミ



佛蘭西出品美術館陳列

銀製浮彫地七子巴煮黑ミ



佛蘭西出品美術館陳列

紫銅唐艸金象眼細彫



佛蘭西出品美術館陳列

獨逸製品工藝館陳列名刺皿

佛蘭西出品
乾山摸造滋器花瓶
美術館陳列

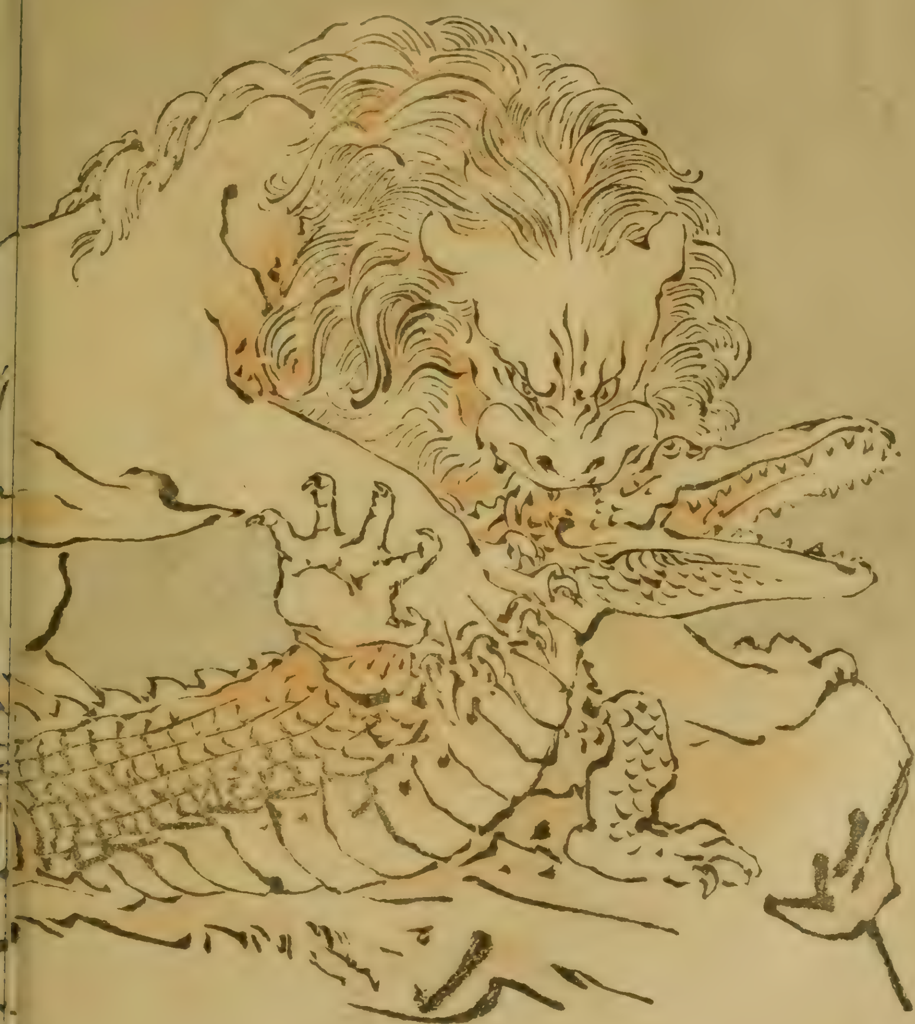


佛蘭西出品
陶器花瓶二種
美術館陳列





JOHN. H. CONMRSE　　ジヨ丶ヱ丨チコ



モウルス氏作大塑象　美術館陳列



美術館陳列
野見宿禰木像
日本山崎兎齊氏彫刻



獨逸カアルハアトマン氏筆油画
美術館陳列

KARLHARTMANN

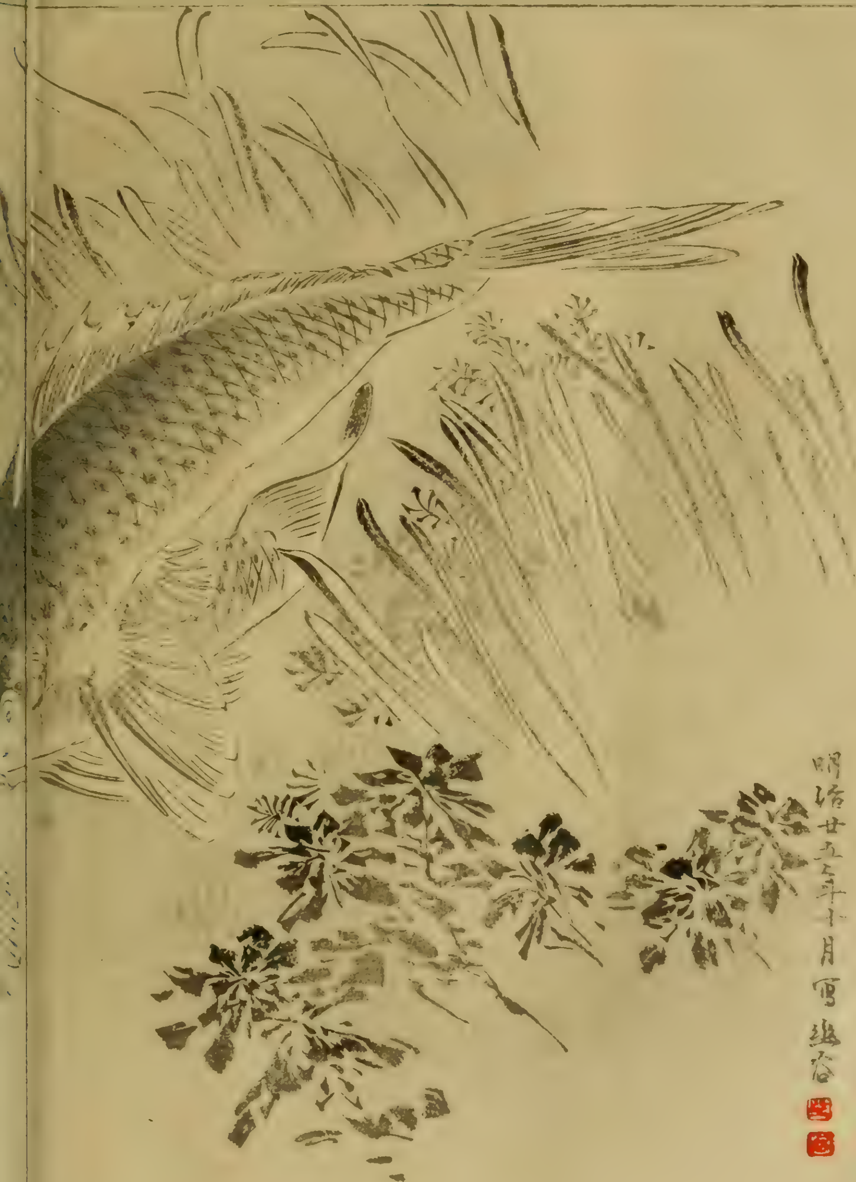


SHAYLES FYANK 佛蘭西



レスフランク氏筆油繪美術館陳列





日本　野口幽谷先生筆[illegible]



英吉利國人子爵ジーミレイスト氏筆油画

此画價二千二百磅ニテ米人某氏ノ買ヒ得タルモノナリ

ミレイスト氏ハ元庶人ナリシモ丹青ヲ以テ子爵ニ叙セラレシナリ



MILET　シーミレイスト氏筆油画



MERLEY 佛蘭西



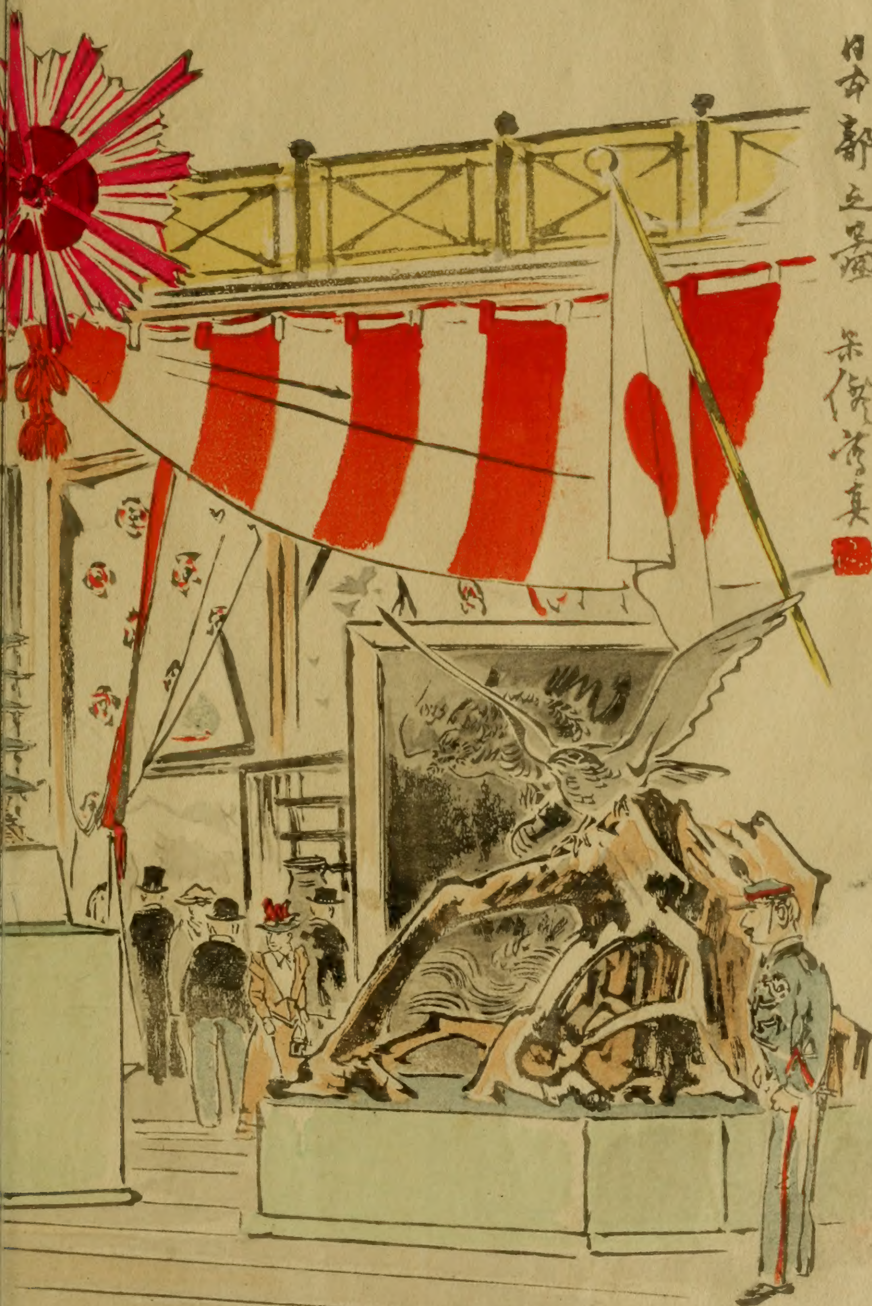
ルレイ氏筆油繪美術館陳列

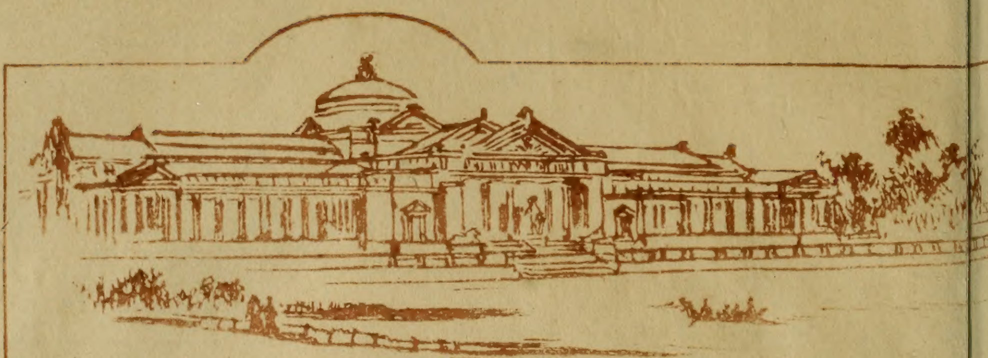




日本　橋本雅邦畫美術館陳列




巴黎世界大博覧會美術館中日本部之圖
米僊寫真



閣龍世界博覧會
美術館

米國閣龍の博覧會ハ十九世紀中の大業ゟして五大洲中未た其の如き
大擧あらさりし盛擧に應して各國より美術工藝の精品雲の
如く集り星の如く羅列し其數幾億萬なるを知られ無しと雖とも
微妙精巧なる物品を見るもの甚た多しと雖も其多からさる物品ハ
永く記録し或ハ撮寫して美術家の參考に供するもの實業上緊
要の一事と謂ふ可し然るも其形狀文章を以て記し難く雅致
言語の盡す所にあらす今此會の為に我國より渡來せし其の巧なる
もの雖も繪畫彫刻陶器織物等有益なる品種をして此場に陳列せり
人に其大概を知らしめんと欲するは實に至難のことにして又其人
の新事無く寫眞能く實に迫ると雖とも色を顕さす洋畫能く
色彩を呈すと雖も雅致に乏し色彩風致共に併せ寫すもの獨り
我日本畫に若くはなし米僊久保田先生遠く米國に遊ひ博覧會場
に臨み彼の微妙精巧なる物品を撰ひ寫して以て美術家の參考
に供せんとす余先生と起居を同ふする數旬先生一身の利を顧
みすして専ら此に從事せらるゝを見る其道を益するの志あらん工藝
上の進歩を導く大なりと謂ふ可し今初編の原稿を送るに際し余か
一言を求めらる余も嘗て其日々觀覧を共にせし因ありしを以て
之を拒まれ一辭を書して以て其端に寘く
米國千篭緑衛玻璃窓下に於て

南涯早川龍識

閣龍世界博覽會

美術品畫譜

久保田米僊畫



閣龍世界博覧會美術品画譜序

米國閣龍の博覧會ハ十九世紀中の大業として五大洲中未曾有の如き

聖路易世界博覽會

美術品畫譜

第壹集

大倉書店[illegible]